

地球温暖化対策報告書作成のための必要事項(2018年度用)

ご協力をありがとうございます。報告書の必要な質問にお答えをお願いいたします。

ご法人名: _____ 代表者氏名: _____

① 建物についてお聞きします。○をしてください。

- * 自己所有 → 1) 建物1棟を所有 2) 建物の一部を所有 3) 一部住居
4) 建物の一部をテナントとして借りています。

② 今回報告する範囲の延床面積を教えてください。

	m ²
--	----------------

③ 建物一部をテナントとして借りられている場合は、
事業所の延床面積を教えてください。

	m ²
--	----------------

④ 「平成29年4月から平成30年3月」の **ガス・電気・水道の「使用料」**
(※1年間の合計の数字でも結構です)を、教えてください。(料金ではありません)

●使用料がよくわからない場合、月々の明細があればわかりますのでご相談ください。

	ガス	電気	水道
H29.4			
H29.5			
H29.6			
H29.7			
H29.8			
H29.9			
H29.10			
H29.11			
H29.12			
H30.1			
H30.2			
H30.3			

※月ごとではなく、1年間の合計使用料がわかる場合は、こちらに数字を入れて下さい

1年間ガス使用量合計	1年間電気使用量合計	1年間水道使用量合計

⑤ 上記の使用量は、事務所のみですか？(該当するものに「○」をしてください。)

建物全体(ビル等) 事務所のみの使用量 その他住居も含む

⑥ 法人様の業種はどのような業種にあてはまるのかご記入ください。

扱っているもの・製造業か小売業かなど。 [_____]

※また、報告書が完成しましたら、「代表者の実印」を「報告書に捺印」していただき、
東京都へ提出いたしますので、ご協力をお願い申し上げます

※この内容についてのご担当様を教えてください (TEL: _____ お名前: _____)

ご協力ありがとうございました。

【問合せ先】公益社団法人 本郷法人会 事務局
山村 貴子 TEL:3812-0595 FAX:3815-2401

中小規模事業所を対象とした「地球温暖化対策報告書制度」



① 制度概要

- 概要
- 条例・規則
- 指針
- ① 報告書の作成・提出
- 報告書の作成
- 報告書の提出
- 作成ハンドブック
- ヘルプデスク

CO2自己評価指標 (業種別ベンチマーク)

- ② 報告書の公表
- ③ 説明会・研修会
- ④ 地球温暖化対策PMシート
- ⑤ よくある質問・回答集
- ⑥ 支援策
- ⑦ 制度TOP

制度TOP > 報告書の作成

報告書の作成

最終更新日:2017年3月30日

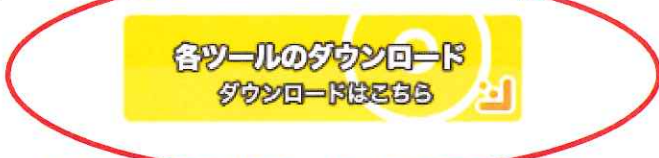
※報告書の作成・提出主体は、「事業者」になります。複数事業所を報告される事業者の方は、本社等でとりまとめて提出してください。

○ 作成ツール(電子データ) による作成

地球温暖化対策報告書作成ツール

作成ツールで地球温暖化対策報告書を作成する場合は、以下のボタンからツールをダウンロードしてご利用ください。

ここをクリック。



○~~提出前チェックシート(作成ツールで報告書を作成する方用)~~
報告書を作成されましたら、ご提出の前に、こちらのチェックシートで最終確認をお願いします。

○ 様式(電子データまたは紙) による作成

作成ツールを使用しない場合はこちらをご利用ください。

- ・ [地球温暖化対策報告書提出書](#)
地球温暖化対策報告書を提出する際の表紙です。(代表者印が必要ですので、謝提出となります。)
- ・ [地球温暖化対策報告書\(その1\)](#)
地球温暖化対策報告書を提出する事業者に関する事項を記入する様式です。(事業者につき1枚作成します。電子データでの提出が可能です。)
- ・ 地球温暖化対策報告書(その2)
[対策レベル1用](#) [対策レベル2用](#) [対策レベル3用](#)
地球温暖化対策報告書制度の対象となる個々の事業所等について、それぞれ作成する様式です。(事業所等ごと1枚ずつ作成します。電子データでの提出が可能です。)
- ・ [提出前チェックシート\(様式で報告書を作成する方用\)](#)
報告書を作成されましたら、ご提出の前に、こちらのチェックシートで最終確認をお願いします。
- ・ [エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量の計算シート\(平成27年度実績から\)](#)
- ・ [エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量の計算シート\(平成26年度実績まで\)](#)
- ・ [係数一覧表](#)
- ・ [日本標準産業分類\(一覧\)](#) (外部サイトへリンクします。)
- ・ [日本標準産業分類\(検索画面\)](#) (外部サイトへリンクします。)

※地球温暖化対策報告書を作成するソフトマニュアルです。
 「地球温暖化対策報告書作成のための必要事項」を記入されれば
 インポートにチャレンジしてみてください。
 インポートが困難な方は、本報法人会事務局までご連絡ください。

110-ジ

中小規模事業所を対象とした「地球温暖化対策報告書制度」



- ① 制度概要
 - 概要
 - ② 条則・規則
 - ③ 指針
- ④ 報告書の作成・提出
 - ④ 報告書の作成
 - ④ 報告書の提出
 - ④ 作成ハンドブック
 - ④ ヘルプデスク
- C02自己評価指標 (業種別ベンチマーク)
 - ④ 報告書の公表
 - ④ 説明会・研修会
 - ④ よくある質問・回答集
 - ④ 支援策
 - ④ 制度TOP

制度TOP > 報告書の作成 > 各ツールのダウンロード
「報告書作成ツール」「エネルギー管理支援ツール」

地球温暖化対策報告書作成ツール

「地球温暖化対策報告書」をパソコンで作成することができるツールです。自動計算機能等が付いているので、手書きによる計算・入力に作成できます。

<作成ツールのダウンロード(下の緑のアイコンをクリック)>

更新日:2018/3/30

地球温暖化対策 報告書作成ツール

2018 Ver 4.2

(2017年度のバージョン4.1と同様です(「提出年度」の入力のみ変更))
[本機能の追加や作成時の注意点は「作成のご案内」をご覧ください。](#)

※Ver3.2で作成したデータを取り込むことができます。

※圧縮フォルダになっていますので、ダウンロード後、以下の手順で解凍して、ご使用ください。

①まず、「2018_SakuseiTool_Ver.4.2」を保存します。

②「2018_SakuseiTool_Ver.4.2」を右クリックし、「すべて展開」や「書庫を解凍」などを選択します。

③解凍するための画面が出てきますので、画面の案内に従って、解凍を完了させます。

④解凍後、「2018_SakuseiTool_Ver.4.2」というフォルダが新たに出来るので、これを左ダブルクリックなどで開きます。

⑤「地球温暖化対策報告書ツール4.2」というエクセルファイルがありますので、これをご使用ください。

→2018年度報告書の御提出には、上のバージョン4.2をご使用ください。

<マニュアルのダウンロード>

・[作成ツールの操作マニュアル](#)

更新日:2016/6/15

※ツールについて、ご不明な点は、[ヘルプデスク](#)へお気軽にお問い合わせください！

<推奨される動作環境(これら以外の動作環境においては、動作不良が生じる可能性があります。)>

■OS:以下のいずれか

- Microsoft Windows Vista

- Microsoft Windows 7

■エクセル:以下のいずれか

注意！！

注意！！

注意！！

エクセルの最新版では作動しませんので、
もし最新版のEXCELでダウンロードしたら、
[EXCEL2007-2003]のファイルで
保存し直して、エクセルを開いてください。
(※最新版のEXCELではマクロが動きません。)

地球温暖化対策報告書作成ツール

2018

年

↑ 提出年度を入力してください

バージョン 4.

★提出までの流れ

「地球温暖化対策報告書作成ツール 操作マニュアルを
見ながら、報告書を作成してください。」

参考資料

本ツールにおけるマニュアルはこちら

地球温暖化対策報告書制度についてはこちら

以前提出を
された方のみ

<http://www8.kankyometro.tokyo.jp/ondanka/report/format/index.html>

<http://www8.kankyometro.tokyo.jp/ondanka/index.html>

○過去の提出データを取り込みます。

提出データの取り込み

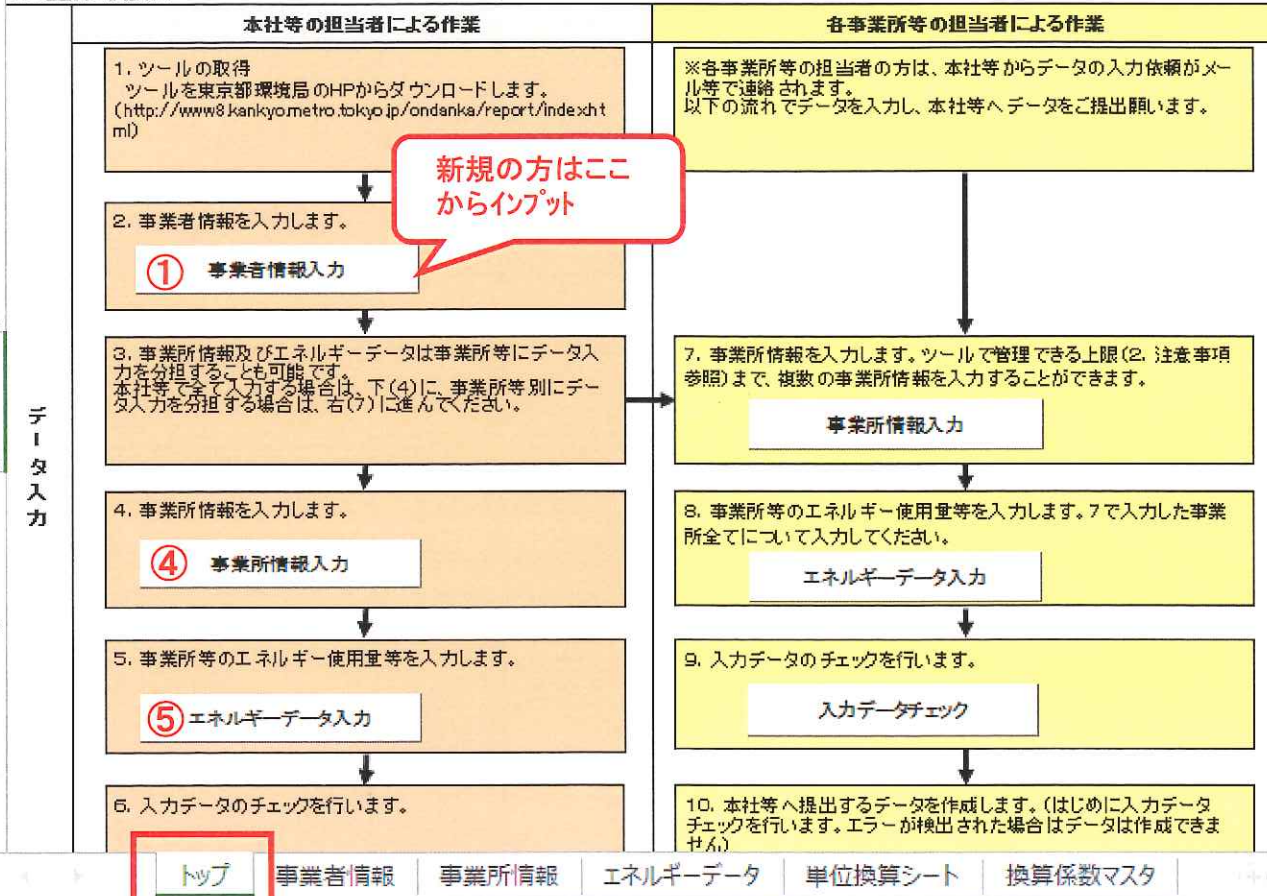
過去に作成したデータを、本ツールへ取り込むことができます。
左のボタンをクリックし、取り込むデータを選択してください。

※CO2排出(換算)係数の変更について

・選択いただいた提出年度に応じて、CO2排出量を算出する際に使用する「CO2排出(換算)係数」が自動的に変更されます。

・2016年度から適用されるCO2排出(換算)係数は、2015年度までの係数と比べて値が大きくなります。

1. 全体の流れ



新規の方はここ
からインプット

2. 注意事項

・Windows Vistaをご利用の方へ

Windows Vistaから、OSに搭載される標準の日本語フォントが JS2004 に変更となったため、以下の事象が発生することがあります。

(1)表示が異なる

一部の漢字が、略字から正字で表現されるため、Windows Vistaと他のOS間で、文字が異なって見えることがあります。

(2)文字化け

JS第三水準、第四水準の文字を用いた場合、文字化け(「」や「■」になる)が発生する場合があります。文字変換時の変換候補で「機種依存文字(unicode)」と表示される文字は使用しないでください。(電子調達システムでは、JS第一水準、第二水準を使用するようにしてください。)

※ Windows Vistaで拡張された文字に関する情報は、こちらをご参照ください。
<http://support.microsoft.com/kb/927488/ja>
(Microsoftのサポートページ)

・本ツールで管理できる観点数は、Excelのバージョンによって、上限があります。

○Excel 2007、Excel 2010の場合 1500観点

○Excel 2007、Excel 2010以外の場合 500観点

上記上限を超える場合、提出作業は可能ですが、とりまと

①事業者情報入力画面(上段)

P Q R S T U V W X Y Z

入力データ削除

トップに戻る

事業者の氏名等

代表者の氏名・役職名を入力してください。

事業者の氏名(法人にあっては会社名)

※必須(全角)

(法人にあっては代表者の役職及び氏名)

事業者の郵便番号(例:XXX-XXXX)

※必須(半角)

事業者の住所(法人にあっては主たる事務所の所在地)

※必須(区市町村名を入力。(例:東京都新宿区))

※必須(町名番地以下を入力。(例:西新宿2-8-1))

事業者番号

※必須(半角5ケタ)

連絡先

連絡先は、提出事業者の担当者の部署・氏名・電話番号・メールアドレス等を入力してください。なお、担当者は、報告書の内容について問い合わせに対応できる方としてください。

この欄には、電話番号と、メールアドレスは入れないでください！

初めて提出される方は必要ありません

※必須

部署・氏名

電話番号(例:XX-XXXX-XXXX)

※電話番号はこの欄に入れて下さい！

※必須(半角)

メールアドレス

事業所数・エネルギー使用量の合計:「義務・任意」の割り振りボタンをクリックすることで、計算されます。

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	0 kL
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	1 kL

※必須(全角)

※必須(半角)

※必須(区市町村名を入力。(例:東京都新宿区))

※必須(町名番地以下を入力。(例:西新宿2-8-1))

※必須(半角5ケタ)

※必須

記入例
(提出事業者以外の事業者が連絡窓口となる場合)

総務部 大江戸花子
[当社の建物管理を委託している以下の事業者を連絡窓口とする]
株式会社 OO
ビル管理部 小江戸太郎
電話: 03-1234-5678
E-mail: △△△△△@tokyo.co.jp

※必須(半角)

注意!! この欄はエネルギー量などを入れた最後にインプットします。

事業者全体の原油換算エネルギー使用量の合計(kL)

1

提出区分

・前年度に提出した報告書における条例第8条の23第1項報告事業所の原油換算エネルギー使用量の合計が3,000kL以上の場合、今回報告

事業者情報

トップ 事業者情報 事業所情報 エネルギーデータ 単位換算シート 換算係数マスタ

15
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

①事業者情報入力画面(下段)

の割り振りボタンを
をクリックすることで、
計算されます。

事業者としての取組

取組方針

地球温暖化対策報告書に取り組み、地球温暖化対策メニューのレベルアップを図る。

重点対策	その他対策
A101地球温暖化対策の方針等の設定	A104取組状況の点検体制の構築
A102温暖化対策推進担当の配置	

組織体制の整備の状況

特記事項

公益社団法人本郷法人会の会員として、報告書制度に取り組んでいる。

ここは東京都のHPに載ってしまっているので、個人情報を入力しないでください!!!

A101 と A102 は、必ず登録すること!!

T U V W X Y Z AA

提出区分

・前年度に提出した報告書における条項第3条の23第1項報告事業所の原油換算エネルギー使用量の合計が3,000kL以上の場合は、今回報告するエネルギー使用量にかかわらず「義務」を選択してください。

注意!! この欄はエネルギー量など入れた最後にインプットします。

ここをクリック。初めては「1」を登録

1

事業者の地球温暖化対策のレベル

2 対策レベルの変更

3 対策メニューの登録

対策メニューの削除

温暖化対策レベルを変更する場合は、こちらのボタンをクリックしてください。

上で選択した対策レベルに応じた対策メニューが表示されます。

※ ②「対策レベル変更」をクリックして、「1」をえらび、③対策メニューの登録をクリックし、「組織体制の整備の状況」を「重点対策」と「その他の対策」の中から選んで登録する。注意点は次ページ参照。

③対策メニュー画面

地球温暖化対策メニューの登録

実施している対策メニューを選択してください。 選択したメニューの解除

重点対策選択画面とその他対策選択画面はこちらから切り替えてください。

重点対策 | **その他対策** |

◆重点対策◆

法人の本社(本部)と事業所 【6つまで選択可】

統括する立場にある者のリーディングの整備	A101 地球温暖化対策の方針等の設定
統括する立場にある者のリーディングの整備	A102 温暖化対策推進担当の配置
推進体制の整備	A103 具体的な取組目標と内容の決定
従業員の育成・啓発	A111 全従業員に温暖化対策情報の提供

連鎖化事業者の本部と店舗

推進体制の整備	A301 各店舗の排出量整理・分析・提供
加盟者との協力体制の整備	A304 温暖化対策への協力依頼

登録 閉じる

地球温暖化対策メニューの登録

実施している対策メニューを選択してください。 選択したメニューの解除

重点対策選択画面とその他対策選択画面はこちらから切り替えてください。

重点対策 | **その他対策** |

◆その他対策◆

法人の本社(本部)と事業所 【6つまで選択可】

推進体制の整備	A104 取締役会の出席率等の向上
推進体制の整備	A105 取締役会や取締役会外での定期的改善
推進体制の整備	A106 本社等による来店のお客様
推進体制の整備	A107 排出状況の整理・分析・提供
推進体制の整備	A108 組織横断的取組推進等の整備
外部の専門家との連携	A109 諸店との集約的相談窓口の活用
外部の専門家との連携	A110 外部専門家への相談依頼の集約
従業員の育成・啓発	A112 温暖化対策推進委員の導入
従業員の育成・啓発	A113 推進担当者の知識向上・情報還元
従業員への共有化	A114 温暖化対策推進委員事例の情報収集
従業員への共有化	A115 従業員事例の店舗内共有体制の構築

連鎖化事業者の本部と店舗

推進体制の整備	A302 スーパーバイザーによる店舗巡回
推進体制の整備	A303 スーパーバイザーの知識向上
加盟者との協力体制の整備	A305 従業員等の店舗間共有体制の構築
加盟者との協力体制の整備	A306 営業店舗の認定加盟店の導入
加盟者との協力体制の整備	A307 店舗横断的取組推進体制の整備

登録 閉じる

この画面のインプットは、「重点項目」を選んだら、登録ボタンは押さず、必ず次にそのまま「その他の対策」を選んでください。

全て選んだ一番最後に登録ボタンを押さないと、何度もやり直すことになってしまいます。(先に入れたものが消えてしまうため)

要注意です！！ 登録ボタンは全て選んでから押してください！！

④事業所情報画面(左側)

各振値をクリックすると、対象した事業所のエネルギーデータ入力欄に移動することができます。

事業所の入力枠追加

20

事業所の削除

←削除フラグがある事業所を削除します

事業所の削除はこちらの削除フラグ列に「*」を入力してください。

報告が2年目以降となる事業者様は、必ず入力してください。(1年目の事業者様は入力不要です。)

住所の区市町村名を入力してください。(例:新宿区)

住所の町名番地以下を入力してください。(例:西新宿2-0-1)

ここは、入れなくてもいい

全館所有、一棟借り等の場合は「建築物の全館」、テナント入居者の場合は「建築物の一部(テナント)」、共有、区分所有、一部住居等の場合は「建築物の一部(その他)」を選択してください。

報告範囲の延床面積のおおむね50%以上を占める用途を選択してください。該当する用途がない場合は、その他を選択してください。

画面上部の「細分類番号の登録」ボタンから登録します。報告範囲の延床面積比率の最も高い分類を選択してください。

左の「細分類」を登録すると、的に業種名がれます。

No	削除フラグ	事業所等の名称	事業所番号	郵便番号	事業所等の所在地	事業所等の所在地	事業所等の延床面積	稼働時間	事業所等の実種	所有形態	報告範囲	報告範囲の主たる用途	日本標準業種分類	
			(7XXXX-XXXX)	(XXX-XXXX)	(区市町村名)	(町名番地以下)	(m ²)	(h)	年度のエネルギー使用期間	※必須	※必須	※必須	※必須	※必須
		※必須(全角)	※必須(半角)	※必須(半角)	※必須(全角)	※必須(全角)	※必須(半角)	【半角】	※必須	※必須	※必須	※必須	※必須	※必須
1		公益社団法人本郷法人会	A1193-0001	113-0033	東京都文京区	本郷3-26-8 頤寄屋ビル2F	92.40	8.5	2_1年度分	2_他者所有	2_建築物の一部(テナント)	1_事務所	9399	他に分類されない非営利
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														

初めての場合は、何も入力しない。

780-ジ

④事業所情報画面(真ん中)

ここから、右の青色部分の対策のインプットはこの「対策メニューの登録」をクリックして、選んでください。インプットの方法は、先程インプットした「対策メニュー」の登録と同じです。重点とその他を両方選んでから、「登録」です。

トップに戻る

各数値をクリックすると、対応した事業所のエネルギーデータ入力画面に移動することができます。

事業所の入力枠追加

事業所の削除

事業所の削除はこちらの削除フラグ列に「=」を入力してください。

「=」を入力

「=」を入力

前年度に報告した内容と変更された場合はこちらに入力してください。

← 対策コード(削減対策)コードを一覧リストから選択することができます。

← 地球温暖化対策メニューはこちらから選択することができます。

対策メニューの登録

事業所情報			地球温暖化の対策の実施状況												
			組織体制の整備 重点対策				組織体制の整備 その他対策				エネルギー等の使用状況の把握 重点対策				
No.	削除フラグ	事業所等の名称	温暖化対策以外	前年度の報告内容からの変更目	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号
		※必須(全角)	※選択												
1		公益社団法人地球人協会	非該当		A201_ビル所有者の対策や関係に協力					A205_取組内容や自提体制	A208_組織横断的な推進体制の整備				B105_エネルギー使用量の前年度比較
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															

ここはフランチャイズ等の場合のみ1・2を使います。普通は3. 非該当を選びます

810-ジ

トップに戻る

事業所の入力経路追加

事業所の削除

各数値をわかりやすくするため、対応した事業所のエネルギーバーチャル入力欄に番号を記入することができます。

事業所の削除はこちらの削除フラグ列に「X」を入力してください。

④事業所情報画面(右側)

前年度に目標「有」で報告しており、かつ、その目標を達成した場合は「達成」を選択してください。

「有」の場合は、目標値等を原則1割記入するが、特定事項に目標の内容を記入してください。

ここに「有」を入れると翌年、結果報告をしなければいけないため、「無」をインプット。

事業所情報	No	削除フラグ	事業所等の名称	省エネルギー対策 設備導入対策 その他対策					排出年度の地球温暖化対策の目標					特記事項	対策メニュー番号コード
				対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	対策番号	排出年度の目標達成の状況	目標の旨	削減率(%)	削減率(%)	削減率(%)		
			※必須(全角)												
	1		公益社団法人本館法人会							2割					B
	2														
	3														
	4														
	5														
	6														
	7														
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	16														
	17														
	18														
	19														
	20														

9ノ2

トップに戻る

事業所一覧に戻る

⑤エネルギーデータ入力画面

凡例

手入力

自動計算

電力については、昼間と夜間で別契約としていない場合は、すべて「その他の買電(昼夜間不明の場合も含む。)」に入力してください。

推計で求めた場合は、リスト(「有」)を選んで登録してください。

※入力データを削除します。
で選択している項目は保存します。

年間値と月別使用量の両方に数値が入力されている場合、月別使用量の数値が優先されます。

都市ガスについては、年間値又は月別値
い。年間合計値には、自動的にNm³換算

事業所情報		エネルギー使用量管理												
No	名称	項目	単位	推計の使用	熱量換算係数	熱量合計 (GJ)	CO ₂ 換	CO ₂ 合計	年間値	月合計	4月	5月		
1	公益社団法人本郷法人会	燃料等の使用に伴う熱量合計	74,616	MJ										
		原油換算合計	1	kL										
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出量合計	3	tCO ₂										
		排水等に伴うCO ₂ 排出量合計	0	tCO ₂										
		CO ₂ 排出量合計	3	tCO ₂										
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出原単位	32.4	kg-CO ₂ /t										
		燃料及び熱 (データの重複不可)	都市ガス	低圧	m ³		45.00	0	0.014	0	9	0		
				中圧	m ³		45.00	0	0.014	0	0	0		
			LPG	kg		50.80	0	0.016	0	0	0			
			灯油	L		36.70	0	0.019	0	0	0			
											0	0		
		電力	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間 (8時から22時)	kWh		9.97	0	0.489	0	0	0		
				夜間 (22時から翌日8時)	kWh		9.28	0	0.489	0	0	0		
			その他の買電(昼夜間不明の場合も含む。)	kWh		9.76	74	0.489	4	7,605	7,605	0		
		規則第5条の17第3項の場合のみなし値		kWh			9.76	0	0.489	0	0			
その他	水道及び工業用水道	m ³					0.251	0	120	120	0			
	公共下水道	m ³					0.439	0	120	120	0			
		燃料等の使用に伴う熱量合計	0	MJ										
		原油換算合計	0	kL										
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出量合計	0	tCO ₂										
		排水等に伴うCO ₂ 排出量合計	0	tCO ₂										

年間使用量の合計データをここにに入れます。ガス、低圧・中圧が、わからなければ「低圧」に入れてください。電気も、よくわからない場合は「その他の買電」に入れて下さい。水道は上下水道同じ数字になります

⑤ 数字を入れると自動計算されます。

10¹⁰-ジ

ここまで、入力したら「トップ」の隣の「事業者情報」というシートに戻ってください。

重要！！

最後に入力するところ。右側真ん中あたり、「提出区分」の黄色のセルのプルダウンで「任意」を選んでください。その後、その下のグレーの「義務・任意の割り振り」ボタンを必ず押してください

終わりましたら、「トップ」というシートを開き、(次ページ参照)左の項目の ⑥「6.入力データチェック」を行います。

エラーがでなければ、そのまま下の ⑦「12 東京都への提出データ作成」 をクリックします。

⑧ 印刷 をかけ提出書類をそろえます。 データは必ず保存してください。

印刷した1ページ目には、「年月日」を忘れずに！

住所は 階数 まできちんと入力してください。

地球温暖化対策報告提出書の上の段の

第1項
第2項

 を、二重線で消してください。

出来上がった報告書に 代表者の実印 を 捺印 して提出します。

地球温暖化報告書の提出先

〒163-0810

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10F

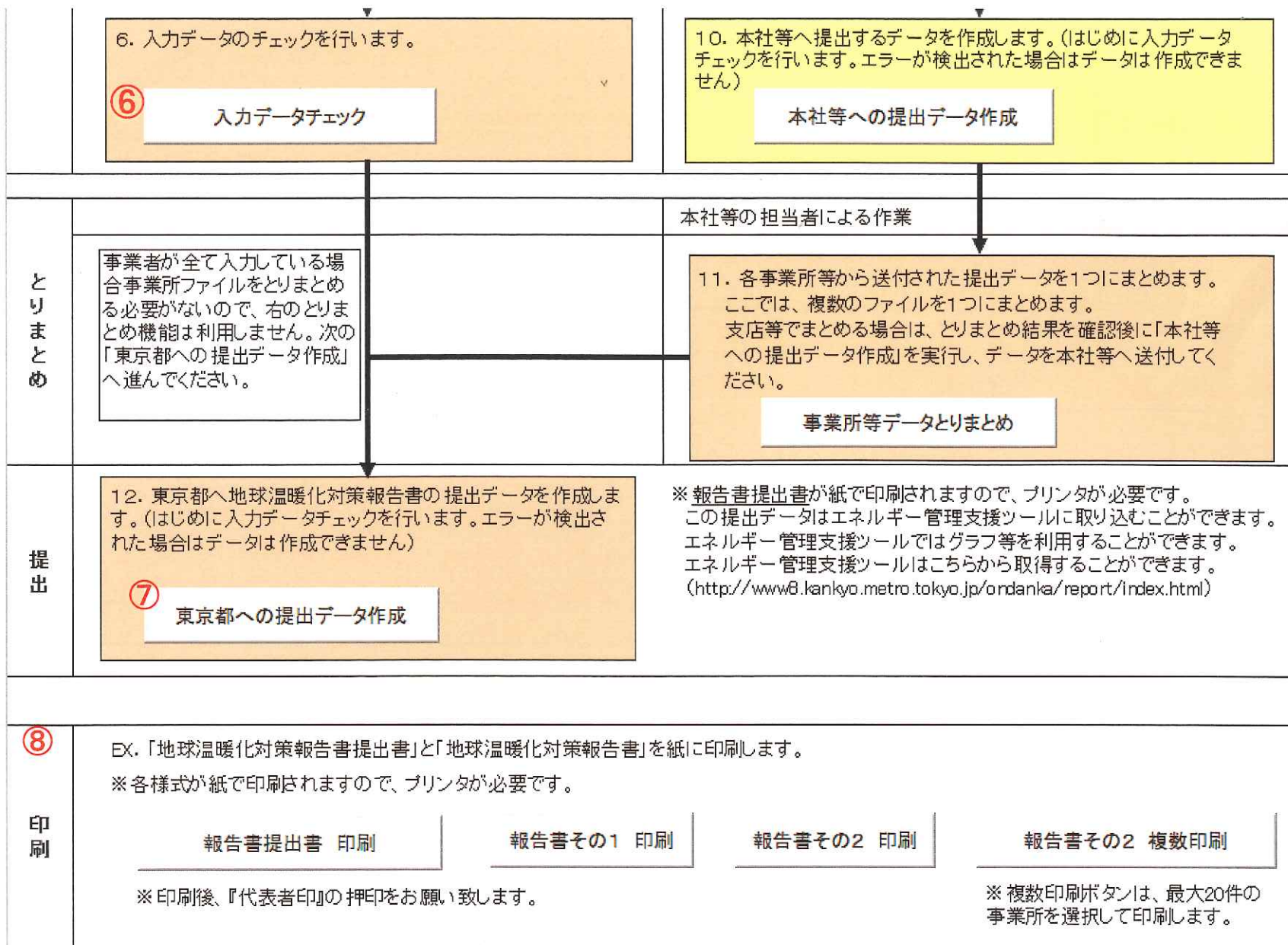
公益社団法人 東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター

(愛称 クールネット東京)

報告書担当 中村 幸恵様宛 送付

TEL:03-5990-5091 FAX:03-6279-4699

1180-シ



○Excel 2007, Excel 2010
○Excel 2007, Excel 2010.

上記上限を超える場合、提
とめ等の作業後等のデータ
しく保存されない場合もござ

3. 備考

・報告書その2 複数印刷:

報告書その2 複数印刷
選択した事業所の“報告書
す。
また、印刷プレビューを表
ジョブを送信します。

○印刷条件の設定は、「報
される印刷プレビュー画面」

12A0-21